

第二三五回ペン川柳会

令和五年十二月二十四日

お題 「飲・飲む」

■ 浜田（我々好）

ウイスキー

肝臓にゴメンと謝り今日も飲む
飲む薬年々増える八十路すぎ

■ 安藤（晃二）

てるつぐ

百薬の長言い訳に毎夜飲み
咲かずの木山茶花の赤息を飲む

■ 稲宮（井波）

いなみ

円安だ飲みねえ食いねえドル札で
飲み放題このお品書き今嫌味

■ 三春（火酒）

ウオツカ

退職日馴染んだ服に酒のシミ
鵜匠です五億丸飲み屁の河童

■ 八木（明迷）

めいめい

食を欠くこれが元来飲む姿勢
二日酔い不幸で休む今日は誰

■ 松谷（零門）

れいもん

清濁を呑んだ監督アレを取り
書いて飲み詠んで飲むのがペンクラブ

■ 山縣（安兵衛）

やすべえ

特別な日だたっぷりと呑みたいな
うわばみか呑んで呑まれてへべれけに

■ 大野（だし）

挟殺を人ごととしてカフエ飲む
ソノカミは鯨飲馬食今や夢

■ 塚田（だだ拿々）

おお酒よ飲んで飲まれて永遠（とわ）の友
飲み過ぎて反省するも夕べまた

世話人 塚田 實（だだ拿々）